



# 職員からのひと言



令和6年2月版



## 検察広報官@企画調査課

私は、みなさんに検察庁や司法制度のことを知ってもらうための、広報の仕事をしています。例えば、学生のみなさんに法律の意義や刑事手続きについて知ってもらうための移動教室・出前教室や教職員の方を対象とした研修・勉強会といったことなどを企画しておりますので、ご興味のある方はお気軽にご相談ください。



さて、そんな私が最も大事にしていること、それがワークライフバランスです。心身ともに充実したライフがあってこそ、精力的にワークに取り組めるというものです。



私も休日には、釣りをしたり、キャンプをしたりして気分をリフレッシュさせています。自分一人で行くこともありますが、先輩後輩を問わず、同僚と行くことが多いですね。「休みの日まで職場の人と？」と思う方がいらっしゃるかもしれませんが、そんなことはまったく気にせず楽しんでます。そういった意味でも、人間関係が良好な職場といえるのではないのでしょうか。



## 犯歴担当@検務官室

私は、前科に関する事務処理や関係機関からの前科照会対応を主な業務としています。前科は国民の人権やプライバシー的な部分と密接に関わっているものですので、常に複数人の目を通してチェックをしながら仕事をしています。

そのため、緊張感はずきものですが、日々やりがいを感じながら業務に取り組むことができ、充実した毎日を過ごしています。



また、自身が法学部出身ではないため、法律科目の知識がほとんどないことに対して入庁時は不安がたくさんありました。ですが、検察庁では研修の種類が豊富でしっかりサポートしてもらえるので、これまで法律の勉強をしたことがなかった私でも周りの人に支えていただきながら業務に必要な法律の知識が着実に定着していると実感しています。

また、旅行が趣味なので、ときどき有休を取得して連休をつくり、全国各地を巡ったりミュージカルを鑑賞しに行ったりして充実度と満足度の高い休日を過ごすようにしています。





## 総務課長@総務課

私は、総務課に勤務しており、職員の採用・異動等の人事事務や給与事務、職員の健康管理、文書の接受、出張や庁用自動車の運行管理、防災、行事関係など総務事務を総括する仕事をしております。

総務課の事務の範囲はとても広いですが、検察庁の本務である捜査・公判活動が円滑に進められるよう、組織の基盤となるこれらの業務に一所懸命に真面目に取り組んでいます。

組織が元気であるためには、何と言っても職員が元気であることがとても大事です。

日々、健康管理やメンタルヘルスへの目配り気配りをしながら、職員の心身の健康の保持・増進に努めています。

また、職員のワーク・ライフバランスを充実させ、更に働きやすい職場環境の整備に向け、計画的な年次休暇やテレワーク、早出・遅出勤務等の推進、超過勤務の縮減に取り組むとともに、子育て世代や介護への支援など、組織をあげてのバックアップにも力を入れております。

「良い仕事は、良い休息から！」が私のモットーです。

週末や休日には、趣味のジョギングで気持ちよく(時にへろへろになりながら)汗を流したり、畑で野菜を育てて収穫を喜んだり、はたまた、土佐湾に船出して元気な魚たちとのファイトを楽しんだりなど、休息を満喫し、リフレッシュしています！

そして、年明け2月には人生初のフルマラソン、龍馬マラソンに挑戦します！

職場のマラソン先輩に上手くのせられ、もとい、上手に後押ししてもらったので、這ってでも春野陸上競技場のゴールにたどり着き、自分で自分を褒め、感動を味わう！のが目下の最大の目標となりました。

職場ではだいぶ上の年齢層になりましたが、まだまだいろんなことにチャレンジしたいと思っています。



## 用度係@会計課

用度係では、①物品の購入・修理・売却、②役務の契約、③法務総合庁舎全体の維持管理などといった業務を行っています。

物品の購入という業務を1つ見ても、「なぜ購入するのか」という点は勿論、「その製品(メーカー)を選定した理由は何か」、「直ぐに購入しないとダメか」といった、必要性・相当性・緊急性の検討を踏まえた上で行う必要がありますので、決して楽なものではなく、また、そもそも国民の負担に基づく貴重な財源を使用するのですから、責任ある重要な業務だと思っています。

検察庁の予算を適正かつ効率的に執行する立場から、時に職員に対して耳障りの悪いことも言わなければならない一方、検察庁の主要業務である捜査公判活動が円滑に遂行できるよう環境を整備する必要もあり、このバランス感覚が国民感覚とズレることのないよう、引き続き職務を邁進していく所存です。





## 立会事務官@捜査公判管理担当

昨年から龍馬パスポート巡りの旅を始めました。

高知県出身の私にとっては縁のないものだと思っていましたが、始めてみるとしばらく行ってなかった王道の観光地に訪れて懐かしんだり、今まで行く機会もなかった地域に訪れ、知らなかった名物を食べたり、資料館で名前だけしか知らなかった偉人のことを学んだりと新たな発見がたくさんありとても楽しいです。



龍馬パスポートにはランクがあり、青→赤→ブロンズ→シルバー→ゴールド→殿堂入りとどんどんランクアップしていきます。私は今はブロンズランクですが、いつか殿堂入りを果たし、土佐テラスに自分の名前の木札が飾られることを夢見ております！



ちなみに、殿堂入り後もそこで終わりではなく、一段から十段までランクがあり、最終的には「免許皆伝」まで行けるみたいです。

特典も色々ありますので、皆さんも是非龍馬パスポートを作ってみてはいかがでしょうか？



## 検取事務官@刑事・交通捜査担当

私は、単独捜査を担当しており、主に交通事件や比較的軽微な窃盗、傷害などの刑事事件を捜査しています。

立場上は検察事務官ですが、起訴することができるなど、検察官の権限の一部を法務大臣から頂いています。

正式には検察官事務取扱検察事務官といい、長くて舌を噛みそうになるので検察庁内での呼称は検取(けんとり)と略されます。

各検察官が立会事務官とペアで捜査するのとは異なり、私たち検取は一人で捜査をするので、取調べなどの際には1対1で相手と向き合わないといけないなど、多少心細い部分はあるものの、大抵は自分のペースでの取調べや起案など業務のスケジュールを自由に組むことができる魅力があります。

極端な話、「困るのは明日の自分だ！」と開き直って休暇を取得し、心身共にリフレッシュすることができます。

自分の責任で起訴して刑罰権を行使したり、起訴しない場合には近年特に検察庁が力を入れている再犯防止について検討したりと、捜査部門の一翼を担う立場としてとてもやりがいを感じることでできる部署です。

趣味はバイクに乗ることで、休日にはアメリカンバイクに跨がり香川までうどんを食べに行ったりして今年では大型二輪免許を取ろうかなと、ひそかに画策しています。

